

令和5年度 学校評価

4 そう思う ■ 3 どちらかといえば、そう思う ■ 2 どちらかといえば、そう思わない ■ 1 そう思わない ■ わからない ■

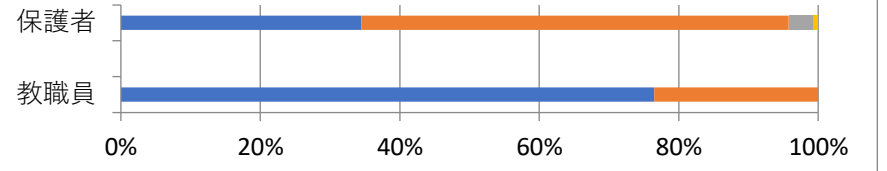
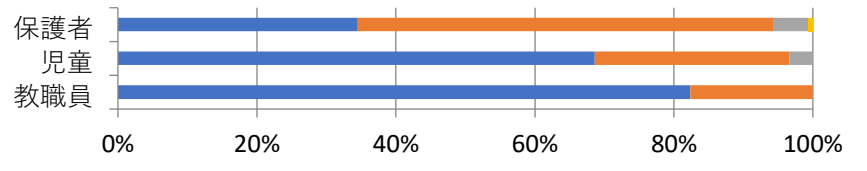
①いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

1 一人一人の児童生徒の尊重

2 道徳・心の教育の充実

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。
(礼儀、生命尊重、思いやりなど)



【考察】 「1 一人一人の児童生徒の尊重」では、肯定回答が保護者は昨年同様の結果で、児童・教職員は昨年より増加した。特に、教職員の「そう思う」は、28%増加した。「2 道徳・心の教育の充実」では、肯定回答が保護者・教職員ともに、昨年と同様の結果であった。ただし、教職員の「そう思う」は、22%増加した。児童へのきめ細かで丁寧なかかわりや心の教育の充実について、教職員の意識の向上と取組の充実がうかがえる。

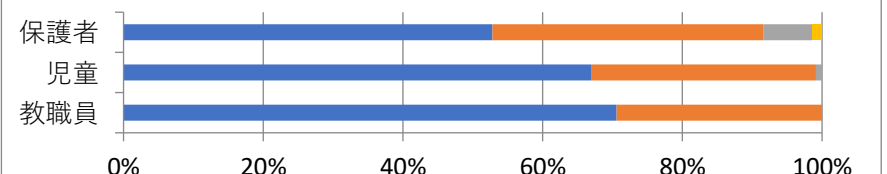
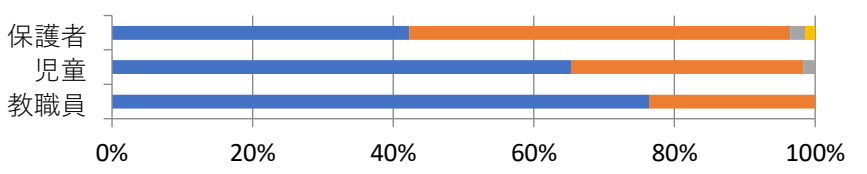
②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

3 授業力向上

4 タブレット端末活用

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。



【考察】 「3 授業力向上」では、肯定回答が保護者・教職員は昨年同様の結果で、児童は、昨年より11%増加した。特に、教職員の「そう思う」も14%増加した。「4 タブレット端末活用」では、肯定回答は全て昨年同様の結果であった。特に教職員の「そう思う」が9%増加した。教職員の授業改善や学力向上への取組の向上がうかがえる。

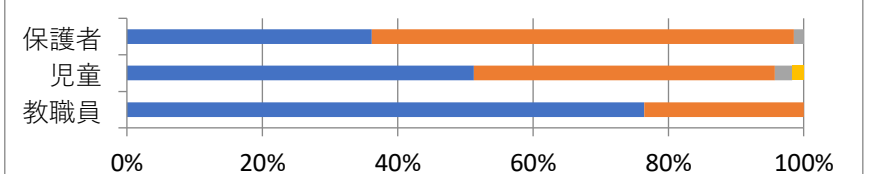
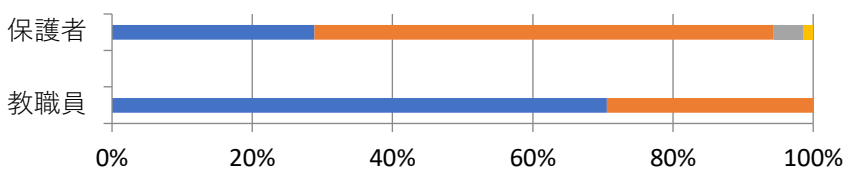
③教員が子どもと向き合うための体制の整備

5 学校の支援体制

6 共生社会を担う人材の育成

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



【考察】 「5 学校の支援体制」では、肯定回答は全て昨年同様だったものの、保護者の「そう思う」が6%減少した。教職員の「そう思う」は33%増加した。「6 共生社会を担う人材の育成」では、肯定回答が全て昨年同様であった。児童は肯定回答が昨年同様であったものの「そう思う」が14%減少した。教職員は、「そう思う」が9%増加した。より一層、支援体制や取組についての周知と連携、児童への目標や活動への意味付けが必要である。

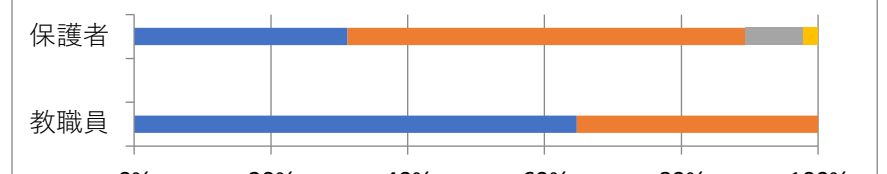
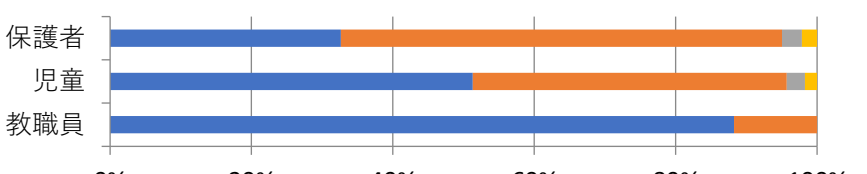
④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止

8 家庭や地域との連携協力

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【考察】 「7 安全と事故防止」では、肯定回答が全て昨年同様であった。「そう思う」が保護者で4%、児童で14%減少した。しかし、教職員では、42%の増加であった。「8 家庭や地域との連携協力」では、肯定回答が全て昨年同様であった。特に教職員の「そう思う」が34%増加した。児童の安全に対する意識と実践力の向上及び家庭・地域との連携を重視した教育活動の活性化を図りたい。

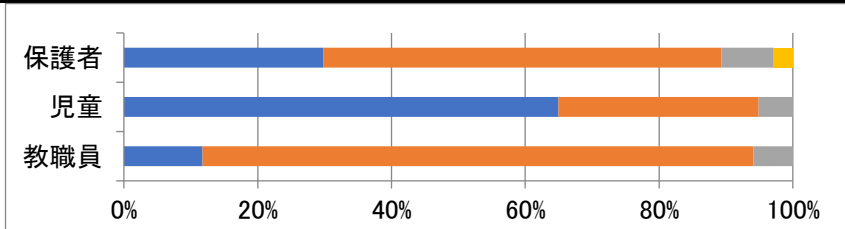
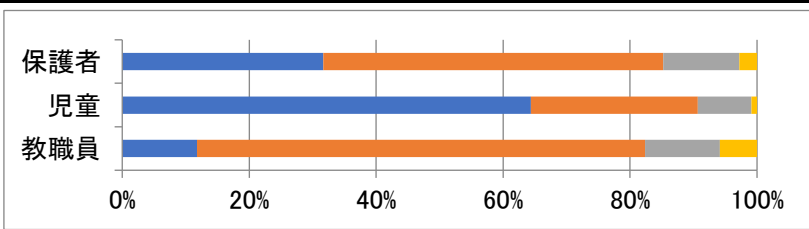
⑤学校独自調査項目

9 あいさつ

10 安心

子どもは、進んであいさつをしていますか。

子どもは、自分や友だちの命を守り大切にすること（いじめをしない、思いやる、感謝する）ができていますか。

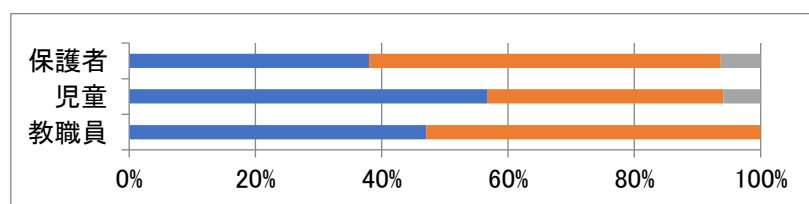


考察 「9 あいさつ」では、保護者・児童で昨年同様であったが、教職員の肯定回答が18%減少した。「10 安心」では、肯定回答が児童は昨年同様だったが、保護者は9%、教職員は6%減少した。（内容項目は一部変更）あいさつは課題であり、学校全体で今後も推進していきたい。また、対話と思いやりを軸に自他を尊重する態度や実践力の育成を図っていきたい。

⑤学校独自調査項目

11 チャレンジ

子どもは、めあてやがんばろうと思うことに向けて取り組んでいますか。



考察 「11 チャレンジ」では、肯定回答が、保護者・教職員で昨年同様であったが、児童は、8%増加した。教職員の「そう思う」も24%増加した。学校教育目標である「あい と チャレンジを大切に」が浸透してきていると思われる。

来年度の具体的な取組について

本年度の結果は、「③5 学校の支援体制」「③6 共生社会を担う人材の育成」「④7 安全と事故防止」での保護者への実感につなげていきたいという課題、児童の意識と実践力向上の課題、「⑤9 あいさつ」「⑤10安心」での学校生活の向上と、より一層の自他の尊重という課題はあるものの、全般的に向上した。「対話」や「交流」を基盤に「新たな教育活動の創造」と「開かれた学校づくり」による「地域と共に育つ児童・地域と共に伸びる学校」を目指し、さらなる教育活動や教育環境の充実に努めていきたい。

学校関係者評価

全般的に、児童は落ち着いた生活を送っており、一人一人の表情もよく、真面目に学習に取り組むことができている。挨拶については、校内ですれ違う際に、多くの児童が気持ちよい挨拶をしているが、個人差も見られ、今後の課題と捉えて良いと思う。授業参観では、これまでの授業との変化を感じる。板書、授業の進め方、タブレットの使い方（何のために、どこで、どのように活用するか）等の工夫は、これからも必要である。また、保護者の実感につながるように、PTAや地域の力を利用して、「目に見える形のアピール」も必要ではないかと思う。評価点平均は、3.4（4段階評価）